



発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鵠沼東3-2 秩父宮記念体育館内
 URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

第37回 スポーツ人の集い

主催 藤沢市体育協会・藤沢市・藤沢市教育委員会
 共催(公財)藤沢市みらい創造財団

令和4年第37回「スポーツ人の集い」は昨年引き続きコロナ禍が続いた為予定しておりました式典開催は残念ながら中止とさせて頂いていただきました。なお、このたびの受賞者及び受賞団体の皆様につきましては、授与品の発送をもつて表彰式にかえさせて頂いていただきました。

受賞者の皆様誠におめでとうございませう、さらなるご活躍そして少しでも早くコロナ禍終息を祈念申し上げます。(子田)

体育功労者

中里 敏(野球)



昭和55年より藤沢市野球協会の審判員として活動を開始され、持ち前の優しい人柄から審判員仲間だけでなくチームから信頼され、野球の楽しさ、正しい野球の指導・普及に尽力されています。

山口 一之(バレーボール)



平成9年理事に就任以来、バレーボール競技の普及・強化に尽力されました。競技運営やルールに精通しており、後進の育成にも努めるなど、協会内部では副会長としての会長を補佐し、バレーボール協会の発展に寄与されました。

宮本 隆(柔道)



日本大学藤沢高校柔道部監督就任以来、情熱的な指導で同校を県内の強豪校へと育て上げ、全国大会でも活躍。藤沢柔道の競技レベルを引き上げた最大の功労者です。『湘南宮本塾』を開塾し、青少年への競技普及へも尽力されました。また年齢を重ねても自らの修行も怠らず、幾度もマスターズ大会の全国チャンピオンに輝いています。

滝内 洋子(空手道)



平成10年空手道連盟の理事に就任以来、空手道競技の普及・振興に尽力され

るとともに藤沢市体育協会においても協会の発展に貢献されています。昨年度から空手道連盟会長に就任され連盟の発展にも尽力されています。



黒澤 俊雄(ソフトボール)

永年にわたり、藤沢市ソフトボール協会所属の審判員として活動され、一般の大会はもとより、中学校、高校、家庭婦人等、藤沢市ソフトボール協会主催大会のすべてに審判員として貢献されています。

優秀選手

大谷 すみれ(陸上)

第15回U18陸上競技大会 女子100mH 3位

服部 咲季(陸上)

令和3年度 全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

秩父宮賜杯 第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 女子4×400mR 優勝

米川 健一(ソフトテニス)

令和3年度 第72回関東ソフトテニス選手権大会 男子35 優勝

島田 航希(バレーボール)

第3回全日本ビーチバレーボールU23男女選抜優勝大会 男子 優勝

野口 彩陽(バレーボール)

第3回全日本ビーチバレーボールU23男女選抜優勝大会 女子 優勝

仲田 和樹(山岳スポーツクライミング)

第1回ユースD(2010年・2011年生まれ)優勝

濱田 琉誠(山岳スポーツクライミング)

第1回ユースD(2008年・2009年生まれ)優勝

男子ユースC(2008年・2009年生まれ)優勝

■優秀選手

石川 ゆい(空手道)
第21回全日本少年少女空手道選手権大会
小学5年生女子形 3位
小島 実紗(空手道)
第21回全日本少年少女空手道選手権大会
小学2年生女子形 3位
第10回関東少年少女空手道選手権大会
小学2年生女子組手 優勝
矢部 日菜(空手道)
2021年第29回全国中学生空手道選手権大会
団体女子組手 優勝
岩見 亮・藤原 慎一(テニス)
第83回日本商業開発(株)全日本ベテランテニス選手権
男子60歳以上ダブルス 優勝
池田 海人(ヨット)
令和3年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会 第62回全国高等学校ヨット選手権大会 総合1位
2021年度JOCジュニアオリンピックカップ 420クラス男子 1位
池田 航介(ヨット)
第53回全日本オプティミスト級セーリング選手権大会 総合2位
遠藤 海之流(ヨット)
2021 Laser All Japan Championships
レーザー47クラス 優勝
服部 輝海(ヨット)
2021年度JOCジュニアオリンピックカップ レーザーラジアル男子 総合3位
2021 Laser All Japan Championships
レーザーラジアルクラス 総合2位
男子1位
服部 陸太(ヨット)
2021年度全日本学生ヨット個人選手権大会
スナイプクラス 2位
齋藤 有作(ボウリング)
第53回全日本シニアボウリング選手権大会
男子シニア2人チーム戦 優勝
齋藤 祐太(ボウリング)
JBC会長杯第36回全日本年齢別ボウリング選手権大会
20歳代の部 3位
鶴見 亮剛(ボウリング)
JBC会長杯第36回全日本年齢別ボウリング選手権大会
30歳代の部 優勝

室戸 康次(ボウリング)

JBC会長杯第36回全日本年齢別ボウリング選手権大会
70歳以上の部 優勝
村上 悦男(ボウリング)
第53回全日本シニアボウリング選手権大会男子シニア2人チーム戦 優勝
男子シニア個人戦 3位
鈴木 一歩(サーフィン)
第55回全日本サーフィン選手権大会ジュニア優勝
第29回ジュニアオープン ジュニア 3位
砂川 圭貴(サーフィン)
NSSA 2021年第50回秋季全日本学生サーフィン選手権大会 Best Men 2位
田村 隆之(サーフィン)
第55回全日本サーフィン選手権大会 支部長クラス 優勝
菅田 湘海(カヌー)
令和3年度全国少年少女カヌー大会
男子カヤックシングル 1位
菅田 湘海・松田 遼(カヌー)
令和3年度全国少年少女カヌー大会
男子カヤックペア 2位

■優秀団体

湘南クラブ(湘南ポイズ)(野球)
城田 陸・河野 遙・中村優太・原 遼希
小日向魁源・面本和輝・小室太陽・齋藤優汰
佐藤奏斗・益岡潤平・須藤 仁・西谷匠人
富塚龍之介・坂本 暹・倉科 陽・徳田 丈
矢部輝一・杉山優哉・藤田琉生・大川 慧
リポピタンカップ第52回日本少年野球選手権大会
中学生の部 優勝
KUGENUMA(バスケットボール)
中西菜桜・小石川結・横山季晴・吉田歩加
第8回3×3 U18日本選手権大会 準優勝
湘南工科大学附属高等学校ラグビー部
(ラグビーフットボール)
遠藤裕将・和田七星・吉田拳斗・須藤晋次郎
瀬戸心太郎・沓澤大地・南澤修斗・川口寛太
犬塚淳平・伊東 慶・齋藤陽希・山田雄己
尾花波音・芝田好輝・熊澤恭輔・高谷 潤
鶴沢将太・清水秀哉・大園 光・白土宏志朗
山下諒太郎・又吉琉空・伊藤慶紀・樺島啓介
三橋寛生・折井智巳・高桑倅輝・大森洋和
吉田 翼・吉田碧那
令和3年度第69回関東高等学校ラグビーフットボール大会 優勝

■敢闘選手

伊藤 未桜(陸上)
令和3年度第59回神奈川県高等学校総合体育大会
女子400m H 優勝
齋藤 愛莞(陸上)
令和3年度第14回神奈川県小学生陸上競技交流大会
4年女子800m 優勝
中西 修平(陸上)
第76回神奈川県陸上競技選手権大会
男子走幅跳 優勝
市川結菜・鈴木綾華(ソフトテニス)
神奈川県小学生ソフトテニス選手権大会 優勝
田辺 智美(ソフトテニス)
神奈川県選手権大会
女子45 優勝
堀越ほの香・和田夏実(ソフトテニス)
神奈川県選手権大会 優勝
飯田 演斗(空手道)
令和3年度第27回神奈川県少年少女空手道選手権大会
形個人戦
小学5年生男子の部 優勝
小泉 琵琶(空手道)
令和3年度第27回神奈川県少年少女空手道選手権大会
形個人戦
小学6年生女子の部 優勝
益田 杏璃(空手道)
令和3年度第27回神奈川県少年少女空手道選手権大会
形個人戦
小学1年生女子の部 優勝
横谷 優花(空手道)
令和3年度第27回神奈川県少年少女空手道選手権大会
組手個人戦
小学6年生女子の部 優勝
大石 莉央(ボウリング)
第22回オール神奈川県ジュニアボウリングトーナメント
高校生・男子の部 優勝
来住野達也(サーフィン)
かながわシニアスポーツフェスタ2021
ロングボード 1位
小出 寛太(カヌー)
第57回神奈川県カヌースプリント選手権大会
小学4年生以下男子ポロ艇シングル 1位
鮫島 陽太(カヌー)
第57回神奈川県カヌースプリント選手権大会
中学生カヤックシングル 1位
高山 小輝(カヌー)
第57回神奈川県カヌースプリント選手権大会
小学5・6年生女子ポロ艇シングル 1位

■敢闘団体

藤沢市立鶴沼中学校陸上競技部女子チーム(陸上)
平本亜実・養田芽依・庄司咲来・蓮見 瑠
伊藤はる佳・佐野夏苗・伊東輝惠・大崎春希
鶴飼塔子・櫻木莉子・新井杜和・山本 葵
岩網紗子
第55回神奈川県中学校総合体育大会
第74回神奈川県中学校陸上競技大会
女子の部 総合優勝
藤沢市立鶴沼中学校女子伝チーム(陸上)
伊東輝惠・庄司咲来・南羽彩惠・養田芽依
渡辺尚子
第55回神奈川県中学校総合体育大会
第36回神奈川県中学校女子駅伝競走大会
女子駅伝 優勝
鯛(野球)
柿木優斗・山下航志・真下和樹・右野大輔
佐々木亮・井上直人・富永 魁・上島哲生
金丸淳司・宮尾和樹・吉田文樹・坂井浩樹
倉石雅文・小野祥太郎・原 大典
堀内裕太・鎌田 海・小高章稔
高松宮賜杯第65回全日本軟式野球大会
神奈川県予選 優勝
藤沢クラブ(バレーボール)
笠原煌生・石川陽希・広岡喜兎・福重秀成
浜野堯彪・鈴木 悠・佐藤陽哉・杉浦瑠星
北村楓亮・加藤隆之助・牧野琥生・浜野蓮太郎
第41回全日本バレーボール小学生大会
神奈川県大会 優勝
湘南工科大学附属高等学校卓球部(卓球)
菊池玲亮・佐藤海翔・小橋寺幹・島村令和
宮田陸斗・八幡陽介・中橋孝太
令和3年度神奈川県高等学校総合体育大会
卓球競技の部 兼 全国高等学校総合体育大会卓球競技の部神奈川県予選 優勝
藤沢市立藤ヶ岡中学校サッカー部(サッカー)
鷹野 翼・井上真成斗・川島祐人・大隅天真
水上陽翔・峯 淳平・羽田俊太・今出遼太
小張裕太・阿部凌磨・野口大喜・蘇 成翔
土田涼太・市川琢磨・潮田旭翔・新道春希
並木雅之・小泉大輔・村下碧海・小島柊人
飯田智明・美濃汰輝・齋藤晃希・藤田亜蓮
大木琥太郎・酒井陽大朗・宮本祥太・今出大翔
令和3年度第55回神奈川県中学校総合体育大会
第64回神奈川県中学校サッカー大会 優勝

スケートボードの活性化について

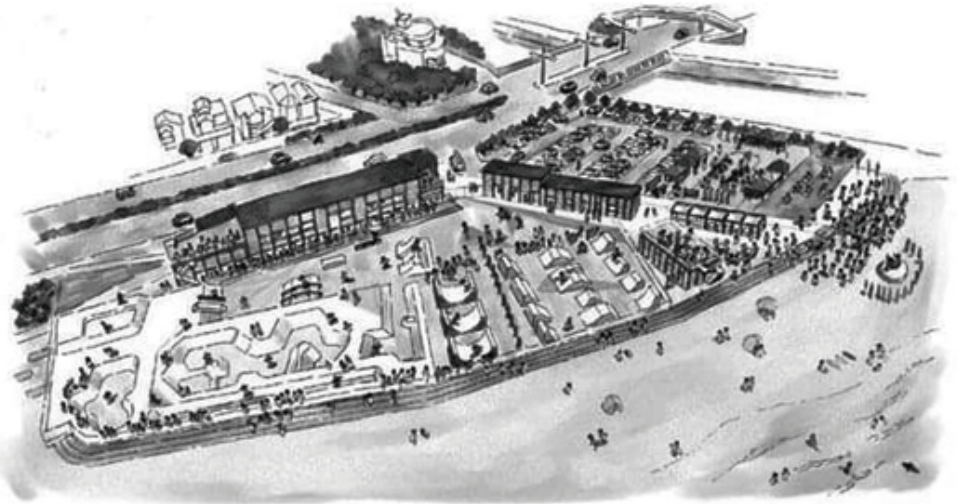


鵜沼海浜公園スケートパークは、2022年7月より、リニューアルに向けて工事が始まります。現在の鵜沼海浜公園スケートパークは30年以上が経過しているため、老朽化が激しく、危険な状況の建物もあるようです。そこで、Park-PFIを用いてさらに充実した公園にするために、入札を行い、鵜沼海浜公園 GROUWING PARK グループが運営会社となり、新しい藤沢市民に優しいスケートパークを作ってくれるようです。

もちろん市民の日みたいなことがあれば一番嬉しいですが、それはどうでしょうか。

工事期間については2022年7月以降～2023年秋頃を目安に完成を目指す予定です。

工事期間中に、スケートパークが閉鎖するとプレイランドがなくなりますので、なんとか一部でスケートボード、BMXができるように藤沢市スケートボード協会が交渉していく予定です。未来のスケートボードがさらに発展できるスケートパークになることを期待したいです。(清水)



鵜沼海浜公園改修事業 完成予想図

新年度にむけて

体育協会会長

林 良雄

昨年度は、コロナ禍の中でイベントを中止にせざるを得なかった状況で、体育協会の活動も停滞しましたが、昨年4月に市内のスポーツ連盟が発足し、がまとまってスポーツ連盟が発足し、10月には藤沢市のスポーツ都市宣言があつたことで、コロナ後の活動に一途の光を見ることができました。

また、健康寿命日本一に向けてスポーツ都市宣言を活かした取り組みも、少しずつ前に進み出しています。

2020東京オリンピック・パラリンピックを終え、スポーツ界は大きな刺激を受け、今年度はスポーツ界の活動も更に活発になると思います。

同時に、体育協会としてはプロ化や地域枠の問題、少子化の課題等に取り組まなければなりません。

これらの問題・課題を乗り越え、実り多き1年となりますよう、皆様のご協力、ご支援をお願いします。

戦争のない平和な世界とコロナ感染の一刻も早い終息を願っています。



令和三年度賛助会員

個人81件 団体41件

■個人会員のご芳名(順不同・敬称略)

- 加藤一・吉田淳基・川副一郎・大谷浩・山本博・津村正範・飯屋繁子・小泉亜弥・小林賢一・大島進・笠井萌・野尻孝之・猪村彰・植村守・佐藤和義・丹野靖久・壽山伸幸・三輪修大・東谷聡子・柳沢真生・武井英雄・小林邦芳・檜山建宇・鈴木伸一郎・栗原英昭・栗原幸浩・石曾根和幸・林修司・藤田俊造・廣川亜希子・新村幸裕・松長泰幸・小菅春夫・露木初枝・遠藤浩・市川和広・永島修治・井田勝・鈴木朝子・荒井勝男・山田康章・青木正己・沼上晃・栗原義夫・小堺幸子・桐生昭代・桜井忍・波多野和敬・宮本隆弘・中村智・石井洋秀・宮本隆・三保谷修二・小川明・福田光春・阿部守・古屋元氣・神崎治彦・滝内洋子・大里建次・高塚良彦・中島嘉一・与安義昭・鈴木和子・坂根隆志・木村三男・古郡健・前川幸雄・佐間野まゆみ・飯田栄一・田口元明・木藤晴彦・古郡佳州美・三浦友紀子・萩野谷真紀子・田村詔男・井上広男・野田豊子・野田勇二・宮脇英雄・大井正信

■団体会員のご芳名(順不同・敬称略)

- ハンドボール協会・体操協会・太極拳連盟・剣道連盟・ゲートボール連合(榎井興業・レストランふじ・横浜日野自動車(株)・グラウンド・ゴルフ協会・テニス協会・ラグビーフットボール協会・バウンドテニス協会・サーフィン協会・藤沢警察少年剣道推進会・陸上競技協会・スケートボード協会・自転車協会・バスケットボール協会・水泳協会・野球協会・柔道協会・空手道連盟・アーチェリー協会・山岳・スポーツクライミング協会・ボウリング協会・弓道協会・ソフトテニス協会・卓球協会・ダンススポーツ連盟・ヨット協会・バドミントン協会・カヌー協会・射撃協会・バレーボール協会・サッカー協会・サッカー協会社会人委員会・サッカー協会高校委員会・サッカー協会中学委員会・サッカー協会少年委員会・サッカー協会女子委員会・ゴルフ協会・スキー協会 (加盟団体については藤沢市略本年度もご入会いただきありがとうございます)

「最高のチームワークと成長」

県駅伝優勝!!

鶴沼中学校 陸上競技部

県駅伝優勝から関東・全国大会などを含めた成績と生徒の成長

2020年度の県駅伝で6位という成績を残し、2021年度はさらに上位を目標にスタートしました。しかし、力のある先輩たちが抜け、チームとしては大きな戦力ダウンをした状態からの出発となりました。しかし、春先から好調だった2年の選手が県大会で県トップ選手たちと肩を並べる成績を残し、夏の関東大会や、県の代表として駅伝大会に出場するほどに成長し、チームの柱となりました。また、3年の選手2名が県



神奈川県中学校女子駅伝大会 優勝

大会の決勝に残るような選手に成長しました。女子駅伝は5区間ですが、うち2区間が3km以上の距離を走ることになります。3km区間においては、3年の選手が長い距離を淡々と走れる特徴を存分に発揮し、チームに安心感を与えてくれました。そして、1年の選手が入学後から徐々に力を伸ばし、駅伝シーズンを迎える時期に、バランスのとれたメンバー編成を組めるようになりました。また、この5人のメンバーが自身の力を十分に発揮できたのも、1年生リザーブの力があってこそです。

県駅伝では、それぞれの走る区間や役割が、本人たちと指導者側とで明確に共有できたこともあり、全員が自身の力を100%発揮することができました。序盤から上位でレースを展開することができ、先行逃げ切りのレースプランを見事に達成し、優勝を果たしました。優勝したことも素晴らしいのですが、何より一人ひとりがそれぞれの区間において、自身の役割をしっかりと果たし、プラン通りのレースを作り上げたことに、生徒たちの大きな成長を感じました。

全国駅伝は、48チーム中27位という成績でした。大会2日目に開場入りをする、大雨と大会前日に降った大雪の影響で試走もままならない状況でしたが、全員が勇気を持って練習からレース本番を迎え堂々と全国大会の舞台を走り抜けることが出来ました。日を追うごとに成長していく生徒たちを見ていて、顧問として感動させられるとともに、幸せな気持ちとなりました。

この1年間で生徒たちは飛躍的に成長しました。現3年生が1年生の入学時には、県駅伝で上位に入ることを目標にしていたが、全国大会に出場することまでは考えておらず、生徒たちの成長には、目を見張るものがあります。しかし、これも一人ひとりが自覚と責任を持って日々の活動を行ったことに加え、駅伝チームだけでなく、短距離や跳躍、投てき種目を含めた、チームメイトに恵まれたことがあると思っています。これからも、自分たちの仲間や環境に感謝し、目標を持って部活動に励んでほしいと思います。

後進の育成、今後の抱負

現在は2022年シーズンに向け、練習に励んでいます。昨年度は女子駅伝チームの活躍が目立ちましたが、10月に行われた、県総体陸上競技の部では、女子総合優勝に輝き、前年度では4×100mRで全国大会に出場するなど、長距離のみならず、部全



第29回全国中学校駅伝大会

体として高い力を発揮することが出来ています。また、男子に関しても、今年度は、「市総体駅伝の部」を勝ち抜き、県駅伝に出場しました。

チーム全体が、それぞれの選手や種目チームに対し、『追いつけ、追い越せ』という気持ちで日頃から活動しており、仲の良い中でも、「ライバル意識」や「競争意識」を持って取り組んでいます。現1・2年生はこれまで先輩たちが残してきた結果を、これまでに以上に確固たるものにできるように、次年度も力を発揮してほしいと思います。(陸上競技部顧問)

編集後記

コロナ禍が続く思い通りにスポーツが出来なくなりwithコロナの時代となる年を迎えました。

世界はコロナ禍に戦争、KHOSな世の中に直面しながら平和、安らぎを求めています。そんな中、スポーツを通して明るい時代を取り戻してもらいたいです。(子田)